

Oh!Me

オー!ミー

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.27・6月17日号 毎週木曜発行 **3面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町289 TEL0748-34-8870

●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603

●発行/毎日新聞大阪本社販売促進部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部

素敵な人!

木、本来の姿を生かしたい...



木工作家
平尾 智子さん

今回の素敵な人は、八日市在住の木工作家、平尾智子さん。自宅にある工房「木の家具・智」を訪ねました。

「木を語り、木を生かす人」との出会い

平尾さんの工房に入るといろいろな大きさの木が壁面いっぱい積んであり、木の香りに包まれます。ここでは主にオーダーメイドの家具を制作、販売しています。平尾さんが木工作家となったきっかけは、10年前に宮大工の棟梁・大村正寛さん(安曇川在住)との出会い。その頃、高校で美術講師をしていた平尾さんは、学生時代から「『自分』は何を表現するか」を学んできました。しかし厳しい伝統技

術の中に生きる大村さんの姿勢は180度違うものでした。「まず自分があるのではなく、素材(木)がある。この木には何があるか。この木はどうなりたいたのか。それを知るために自分をどこまで捨てられるか...」。この考えに驚き、そして感銘を受けたそうです。

れてはいけない領域があるように思います。今後の夢は?とお尋ねすると「木のやさしさや怖さと向き合いながら、どうやって木を生かせるかがわかる



「いすの完成」に感動!

こうして平尾さんは週末ごとに師匠のもとに通いものづくりを学び始めました。木を削らせてもらえるまでに3年。いすを完成させることができたのは4年目のことでした。この時教師から木工作家への転身を決意したそうです。平尾さんは「伝統技術というものは厳しい徒弟制度の中、心と体で学んでこそ伝わっていくもの。『木、本来の姿を生かす』ということはそういった土台があってこそ可能なのではないのでしょうか」と言います。



こと」と、答えてくれました。現在は口コミでお客様も増え忙しい毎日を送っています。6月18日からは、大村さんを中心に平尾さんと兄弟子である若林隆さんの展示会が開かれます。ぜひご覧ください。

(取材・川上)

平尾智子さんの連絡先
八日市市 市辺町904
TEL:0748-22-1411

工芸家たちの表現 木の姿、森の景色

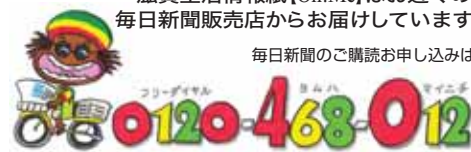
-木を語り、木を生かす人に会い学んだこと-

- 期間:2004年6月18日(金)~7月4日(日)
- 時間:9時~17時 月曜休館
- 場所:県立八日市文化芸術会館 展示ホール 八日市市青葉町1-50
- お問合せ:県立八日市文化芸術会館/0748-23-6862

素敵な人の投稿はこちら gaido.jp/0173

滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読申し込みは



毎日新聞に載るまで、その事実は存在しないことになっていた。

'03年度

自衛官募集に住基情報

健康状態など「18歳リスト」

防衛庁 多くの自治体協力

「自衛官募集に非公開の住基情報が使われている」。情報を渡していたのは、全国の自治体だった。粘りのスクープが政府や国会をも揺さぶった。

小さな事実の追及が、大きな事実を明らかにする。

「防衛庁住基情報収集スクープ」

'02年度

防衛庁が請求者リスト

100人以上、身元調べ

職業や所属団体も

「情報公開」は知る権利のための制度だ。しかし、官はそれを「国民の身元調査」に使った。熱意のスクープが、隠された官の不正を暴いた。

ひとりの人間として、おかしいと思う。

記者として、書かねばと思う。

「情報公開請求者身元調査スクープ」

'01年度

旧石器発掘ねつ造

調査団長の藤村氏

宮城・上高森遺跡

「神の手」をもつ考古学研究者が重ねた世紀の発見。しかしその手は汚れていた。3カ月もの入念な取材が、考古学研究者の歪みを浮き彫りにした。

歴史を、誤ったままにしてはならない。

記者の信念が、事実を握りあてた。

「旧石器発掘ねつ造スクープ」

'00年度

運転手きょう起訴

新証言得て

人間の命って、そんなに軽いのか。憤りが、悲しみが、取材を支える。

「片山隼君事故キャンペーン」

書くことで、世の中を良くできる。そう信じる記者たちが、次の取材を始めています。



報道のグランプリ、新聞協会賞V4!